



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス



国際協同組合年

今月の特集 4～5面

秦野の農産物使う新商品続々
JAはだの管内で、秦野産の農産物を使った新たな商品が続々と登場。生産者は商業者と連携し、農産物の魅力をPRしようと工夫を凝らす。

訪問日はポスト投函 7月

7月から9月までの組合員訪問日は、熱中症対策のため訪問活動を簡略化し、機関紙「JAはだ」のポスト投函(とうかん)での対応とさせていただきます。

いただきます。ご理解をお願いいたします。
提出物などご用件のある方は、最寄りの支所・支店までご連絡ください。



山口組合長が丁寧に育てたハウスミカン

こだわり光るハウスミカン

6月下旬、市内でハウスミカンの収穫が始まった。平沢小原ハウスみかん組合の山口一夫組合長は、品質の良いミカンを生産者に届けようと連日、収穫や出荷作業に汗を流す。「毎年楽しみにしてくれている人のために、



余念がない。枝を一本ずつツックでつるし、木の内側まで光や風が入るように調整。実を多くならせるために、剪定(せんてい)や施肥などの丁寧な栽培管理に励んでいる。出荷は9月末まで続く見込みだ。

しっかり対策を

高温が続く、熱中症警戒アラートが発令される日が増えています。対策を徹底し、熱中症を予防しましょう。

▼高温時の作業は避けましょう
一般的に70歳以上の方

熱中症に注意

は、喉の渇きや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は避けて作業しましょう。

▼単独作業は避けましょう
なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけ合い、異常がないか確認するようにしましょう。

▼20分おきに休憩・水分補給しましょう
詳しくは、農林水産省の熱中症対策ウェブページをご覧ください。



協同組合の連携 強固にサミット

IYC2025を記念



意見を交わすパネリスト

割と進むべき未来について」と題して登壇した。協同を学び、実践を進める取り組みを進めるよう呼びかけた。

中央日本事務所から、代表らをパネリストとして招いた。各組合がIYC2025に際して実践していること、他、協同組合間での連携を進めていくべきか意見を交わした。サミットには組合員や役員、関係者、内外JAの関係者ら合計131人が出席した。

尊徳の功績学ぶ

基礎講座で
記念館訪問

組合員基礎講座の受講者12人は8日、小田原市の尊徳記念館を視察した。協同組合の原点である



二宮尊徳の生家を見学する受講者

る「報徳仕法」を学んだ。二宮尊徳について学習した。受講者は尊徳の生涯を紹介するアニメーションを鑑賞した後、展示室でボランティア解説員から酒匂川の洪水の歴史や、農村復興に尽力した尊徳の足跡などの説明を受けた。尊徳の教えを学んだ。生家では、家の構造や当時使用していた農具などを学んだ。幼少期の尊徳の暮らしなどを学んだ。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。



センター職員⑥と摘果について意見を交わした

カメムシ対策は万全に

ぶどう・梨部が夏季管理講習会

果樹部会ぶどう・梨部は6月24日、鶴巻の園地で梨の夏季管理講習会を開いた。近年の異常気象で、栽培管理が難しくなっていることから、部一丸で栽培技術の向上につなげる狙い。果実の肥大に欠かせない本摘果をはじめ、病害虫の最新情報を学んだ。



新梢を誘引する箇所を確認

追い込みへ最新情報学ぶ

部員の他、県農業技術センターとJAの職員計7人が参加した。部員は本摘果と新梢(しんしょう)誘引の目的や適期を確かめた後、誘引作業の実演を見学した。

センター職員らは黒星病、カメムシ類、ナシヒメシンクイガへの対策と防除を周知。特にカメムシは、近年発生数が増加傾向にあるため、生態サイクルや駆除方法について表や写真を用いて解説した。

宮川謙一副部長は「順調に生育しているが、ここからの管理が最後の追い込みで大事な時期。玉伸びするよう丁寧に摘果しながら、カメムシ対策も徹底し品質の高い梨を届けたい」と意気込む。

目指せ高品質の果実 摘果や防除を再確認

中晩柑夏の管理徹底へ

果樹部会柑橘(かんきつ)部は8日、南矢名の園地で中晩柑管理講習会を開いた。品質の高い果実の生産につなげるのが目的。摘果をはじめ、施肥や病害虫防除のポイントを再確認した。

部員の他、県農業技術センターとJAの職員計12人が参加した。センター職員らが摘果の目的や、優先して取り除く果実、残す果実数の目安などを解説。「はるみ」など隔年結果が起こりやすい

品種は、木の上部分の1を全て摘果することを伝えた。一方で、木ごとに実が付きやすい箇所が違ふことから、実際の木の状態を見て判断するように呼びかけた。

中晩柑に発生しやすいかいよう病や黒点病の対策を周知した他、大量発生が懸念されるカメムシにも注意を払うよう促した。

部員は摘果の実演を見ながら、各園での生育状況や管理方法について意見を交わした。

夏は豪雨・台風
に適切な対策を
近年、夏季に集中豪雨などで露地野菜への被害が発生する例が見られます。昨年は台風や前線の



営農技術 ヒント・ポイント
かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)
農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333
●果樹花き課 果樹(大井・曾根田・溝田) 花き(青木)
●野菜課 (杉山) 課 (城戸) 加工(小川)
●作物加工課 加工(小川)

人気の花や傾向は!?

市民へのPRに力も

C(地域農業の担い手に
出向くJA担当者)と、



量販店や市場の花の動向を学んだ講習会

株式会社花き園芸卸売市場の長谷川寛取締役が務めた。TACが、市内の量販店が地元の花の販売に意欲的なことを説明し、JAの買い取り販売への出荷を呼びかけた。その後、長谷川取締役が市場の近年の状況を報告。人口減少や物価高で消費者の花離れが進む現状や、近隣の市場で取り扱う輸入花についても説明した。大津智司部長は「輸入の状況も分かり参考になった。市場出荷はもちろん地産地消も大切なので、市民への地場産のPRにも力を入れていきたい」と話した。

影響で8月から9月にかけて大雨が降り、定植したばかりの農作物が流される被害が発生しました。今年も台風の通過などが考えられますので、気象情報に注意して、早めの対策と適切な事後処理で被害の拡大を防ぎましょう。

大雨が予想される場合は、通路の端を溝切りするなど、水がたまりにくい状態にしておきます。風雨で傷みやすい軟弱野菜などは、事前に収穫することも検討してください。台風の通過が予想される場合、種まきや定植直後の野菜類は被害が出やすいので、寒冷紗(しや)などで被覆し、風の影響を軽減させましょう。

事後の対策としては、流入してきた土砂やごみなどを取り除き、果菜類は誘引や支柱の立て直し、畝の修復を行います。天候が回復したら被覆は早めに取り除き、苗類が蒸れて傷むことを防ぎましょう。風雨や泥はねなどで傷んだ傷口から病原菌が侵入しやすいので、早めに殺菌剤を散布して病害の発生を予防しましょう。

(杉山)

JAグリーンは農家を応援します

秋野菜作りに利用を



特別価格で販売する肥料

肥料・農薬キャンペーン

JAグリーンはだのは8月2日(土)〜11日(月)、秋野菜作りに適した肥料や農薬などを特別価格で販売します。お得なこの機会にぜひご利用ください。
お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

世代を超えて伝える味

ふるさと料理教室

女性部は、地域の食文化を若い世代に伝えようと「ふるさと料理教室」を開く。市内の幼稚園やこども園に通う園児の保護者に、郷土料理の作り方を指導。地域の農業や食の歴史を伝えるとともに、世代を超えた交流につなげている。



部員④にそば打ちを習う参加者

食・農・地域への理解促す

教室は、市内の幼稚園 まんじゅうの3種類を用やこども園の園児の保護者意、園ごとに選択できる者対象に、19年前から開催。メニューは手打ちそば・太巻きすし・蒸し員4人が、東公民館で市立東幼稚園の参加者8人そば打ちを指導した。秦野産のそば粉を使い、生地をこね方や延ばし方、切る際のこつなどを教えた。部員は秦野の農業の歴史も紹介。市内でかつて生産が盛んだった葉タバコの後作として、肥沃(ひよく)でない土地でも栽培できるソバが作られてきたことを伝えた。



「あじな」を訪れた本部役員

先進女性組織この目で

本部役員が活動学ぶ

女性部は1、2の両日、A上伊那の本所を訪問。本部役員研修会で長野県女性組織「生活部会」を訪れた。本部役員16人活動を学び、交流を深めた。長野県南部にあるJた。

JA上伊那は、伊那市や駒ヶ根市など2市3町3村を管轄。生活部会には2000人以上が所属する。JAはだの本部役員らは、JA上伊那の生活部会員らから、部会の活動内容の説明を受けた。広いJA管内でも地域に密着した活動ができるよう、地区ごとの班別懇談会や、食生活セミナーなどを開いていることを学習。生活部会員や地域の願いが実現するような活動を目指していることについて理解を深めた。その後、長野県南信工

参加した神定彩華さんは「そば打ちが普段なかなかに楽しかったので、これからは開催してもらいたい」と笑顔を見せた。

いきいき女性部活動

「京扇会」

代表 小高 瑛子

私たちのグループはリメイクの会です。着物の着付け教室に参加した人たちが、ボディの補正をするために下着を縫ったのが始まりです。たんすの中に眠っている着物を再びよみがえらせ、第二の着る物にしています。最初は、着物を順序よくほどこいていきます。これをきれいに洗い、プレスをして作品に作り上げていきます。チュニック、ズボン、コートその他、布を裂いて長いひもにし、裂き織りでベスト、ショール、ペットボトル入れなどを製作しています。グループでアイデアを出し合い、いろいろなものを作っています。楽しいグループです。



活動をスタートさせた。農と食をつなぐ取り組みで、今年は56人が参加。口コミなどで、取り組みの素晴らしさを知った部員が新規に18人参加するなど、プロジェクトの輪が広がっている。プロジェクトは、国産大豆の自給率の低さを知った部員の発案で2010年にスタート。以来、毎年恒例の活動として定着している。自分たちの手で種をまき、栽培に挑戦すること、農業の大切さや地産地消の重要性を知るきっかけになる他、協力して作業すること、部員同士の親交を深める機会に

大豆プロジェクト始動 種まきに47人 広がる参加者

女性部は6月30日、大豆の生産から加工までの



協力して大豆の種をまいた

一連の流れを体験する「自給率向上!大豆プロジェクト」の今年度の活動が始まりました。大豆プロジェクトは、国産大豆の自給率の低さを知った部員の発案で2010年にスタート。以来、毎年恒例の活動として定着している。自分たちの手で種をまき、栽培に挑戦すること、農業の大切さや地産地消の重要性を知るきっかけになる他、協力して作業すること、部員同士の親交を深める機会に

支部だより

東支部

ショートのアームカバー作り
東支部の部員14人は7日、東支所で作った。「家の光」2025年4月号の記事を元に、ミシンを使って仕上げた。ショートのアームカバー



ミシンでアームカバーを作った

大根・西支部

健康講話
大根支部と西支部は8日、各支所で健康講話を開いた。健康寿命100歳プロジェクトの一環で、合計41人が健康に関する知識を深めた。



大腸の疾患について学んだ講話(大根支部)

は、料理などの際に腕に付けることで、袖口を濡れや汚れから守る。同支部は、そば打ちの活動を予定しているため、その時に付けるアームカバーを部員で集まって作ることを企画した。裁縫が得意な部員を中心に、縫う位置などを互いに確認しながら、リバーシブルのアームカバーを仕上げた。

大根支部は「こんな時に大腸鏡検査を受けよう」とテーマに開催した。JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院の職員が、大腸の主な疾患である大腸がんについて解説。食事などの環境的要因や遺伝

もなっている。種まきは、下大根の約18坪の畑で、47人が作業。4坪の大豆、津久井在来米25、30坪の間隔でまいて、土をかぶせた。今後は、7月末に草取りと土寄せ、11月に刈り取りと脱粒を計画。12月にはみ

8月の女性部行事予定表

1日(金)	10:00~第2回スポーツ運営委員会
//	13:30~本部役員会
6日(水)	13:30~南支部「ブドウ狩り(1班)」
//	14:30~南支部「ブドウ狩り(2班)」
7日(木)	9:30~支部会(南・西)
//	10:00~本町支部「ブドウ狩り」
//	13:00~支部会(東・上)
//	14:00~上支部「健康講話」
//	15:00~東支部「健康講話」
8日(金)	9:30~支部会(大根)
//	13:30~支部会(本町・北)
18日(月)	9:00~東支部「そば打ち」
//	13:30~南・上支部「酢の料理教室」
19日(火)	9:30~北支部「酢の料理教室」
//	13:30~大根・本町支部「酢の料理教室」
20日(水)	9:30~西支部「酢の料理教室」
28日(木)	14:30~納涼祭

小麦750袋検査 粒そろい品質上々



小麦の品質をチェックする検査員(左)ら
組合は、1法人と6人月と収穫前の5月に畑を
が所属し、連携して小麦 巡回し、追肥や病害虫防
を生産。毎年、出穂期の3 除などを確認している。

高温対策学ぶ 新品種栽培の報告も

水稻検討会

JAはだのは8日、鶴される品種「にじのきらめき」を
巻と上大根の水田で水稲 めき」の市内での試験栽
現地検討会を開いた。水 培の状況も報告した。
の管理や追肥など、今後 講師を務めた県農業技
の栽培管理方法を周知。 術センター職員が 参加
さらに、高温耐性が期待 した生産者32人に追肥前



「にじのきらめき」の生育を確認する生産者ら
の管理方法を伝えた。今 成される時期には必ず追
年は生育が早く、例年よ 肥するよう呼びかけた。
り出穂時期が前倒しにな 参加者は、高温障害耐
ることを説明。幼穂が形 性を持つ品種「にじのき
らめき」について説明

あり不安な部分もある
が、会員同士で技術や情
報を共有し納得いくもの
を出品したい」と意気込
む。

緑茶でようかんやそば 地元企業に協力を依頼



果樹部会茶業部の働きか
けで、秦野産の茶を使っ
加工品が統々と登場して
る。地元の和菓子店や製
所とコラボレーション。茶
の味が感じられる「緑茶
ようかん」と「丹沢山麓茶
そば」を新たに発売した。部
員の生産意欲の向上や、秦
野産茶の消費拡大につな
げる考えた。

曲松の洋菓子店「パティ
スリー クラブリナ」オ
クドチーズケーキ。現在販
売するのは、神奈川生
産の、新商品「宮村農園
チーズケーキ」の販売を始
めた。北矢名の宮村真樹
さんが生産するかんきつを
限定で販売。規格外品や摘
果した実を有効活用し、か
んきつの香り豊かに仕上げ
る。

「宮村農園のチーズケ
ーキ」は、宮村さんから仕入
れたかんきつを使ったパイ
オクドチーズケーキ。現在販
売するのは、神奈川生
産の、新商品「宮村農園
かんきつ」の販売を始
めた。北矢名の宮村真樹
さんが生産するかんきつを
限定で販売。規格外品や摘
果した実を有効活用し、か
んきつの香り豊かに仕上げ
る。



「かんきつ」は、ミカンやセ
リがたい。これからも地元
のつながりを大切に連携し
ていきたい」とこにこり。
吉田さんは「出荷できな
いものを材料にすることで
、農家の応援にもなる。さ
まざまなかんきつを使
用してもらえて、とてもあ
りがたい。これからも地元
のつながりを大切に連携し
ていきたい」とこにこり。
吉田さんは「出荷できな
いものを材料にすることで
、農家の応援にもなる。さ
まざまなかんきつを使
用してもらえて、とてもあ
りがたい。これからも地元
のつながりを大切に連携し
ていきたい」とこにこり。

三枝分け実演

菊花会が講習
菊花会は9日、千村の
岡部照之会長宅で講習会
を開いた。11月の菊花展
に向け、品質や技術の向
上につなげる狙い。三枝
分けなどのポイントを学
んだ他、栽培管理に関す
る情報を交換した。
会員は、菊の栽培工程
の一つ「三枝分け」を学
習。岡部会長の実演を見
ながら、枝を曲げる角度
や長さなどを確認した。
その後、本鉢へ植え替え
る手順を見学した他、使
っている道具や水やりの
頻度などについても意見
を交わした。
岡部会長は「例年に比
べて1週間程度生育が遅
れている。猛暑の影響も



続々登場 魅力多彩に発信

秦野の農産物で おいしい新商品

こだわりの十割そば 代々伝わる在来種原料に つなぎは入れず乾麺に



「秦野産十割そば」は、
おもしろさを広く発信して
いる。

「秦野産十割そば」は、
おもしろさを広く発信して
いる。



トウモロコシのジェラート
は、おもしろさを広く発信
している。

トウモロコシのジェラート
は、おもしろさを広く発信
している。

トウモロコシのジェラート
は、おもしろさを広く発信
している。

No.504

発見 長寿の 秘訣

本町で生まれ育った
土屋孝治さんは、自動
車関連の企業で製品開
発に携わり、7年目に
転職。約20年、長野県
駒ヶ根市で仕事や子育
に励み、秦野市に戻
った。退職後、地域に

子育て支援に尽力



貢献できることを模
索。2015年に子ど
も・子育て支援新制度
に、保育士の妻と一緒
に見るのが楽しみで
す。絵は、個性がよく



「秦野メークイン」の品質を確認する井さん

秦野メークインが出番

ジャガイモ「秦野メー
クイン」の生産者3人は
続く、伝統の特産ジャ
ガイモを守り続けている。
今年産を出荷した。19



「秦野メークイン」の品質を確認する井さん



外壁材の製造工程の様子

メーキャップ こうしましよ フレミズ講座

女性部は6月27日、本
所でフレミズ講座を開
いた。日々のメークのワ
ンクアップをテーマ
に、メークレッスンを
実施。受講者13人が、用
意された化粧品を使い
ながら、メーキャップ
に挑戦した。

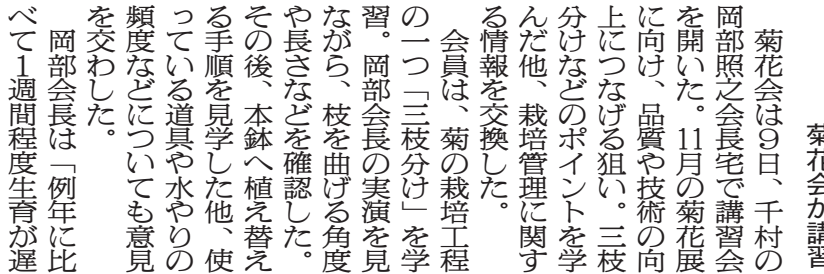


メーキャップ講座の様子

プロの指導でメークレッスン

緑町の
フェイ
シャル
サロン
「ふれ
愛サロ
ン」か
ら講師
を招き
、サロ
ンに勤
務する
部員
もサポ
ーター
。アイ
シャド
ウをま
ぶたに
塗る範
囲や、
アイラ
インの
引き

メーキャップ講座の様子



メーキャップ講座の様子



三枝分け実演の様子

告知板



【8月のイベント】

- ☆「おススメ！果物・野菜・加工品」2日（土）3日（日）16日（土）17日（日）23日（土）24日（日）30日（土）31日（日）旬の果物や野菜、お薦めの加工品などを店舗外の特設コーナーで販売します。
- ☆「はちみつの日」3日（日）蜂蜜の生産者が、地元産の蜂蜜を対面販売します。
- ☆「豚肉加工商品の日」8日（金）（株）フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。
- ☆「お盆フェア」9日（土）～13日（水）秦野産の小菊を中心に、お盆用品を多数取りそろえます。10日（日）～12日（火）の3日間は、水菓子と和菓子もたくさん並びます。
- ☆「梨の試食販売」23日（土）31日（日）市内の生産者が出荷する、梨を試食販売します。秦野産のおいしい梨を食べてみてください。
- ☆「ブドウの試食販売」24日（日）30日（土）市内の生産者が出荷する、ブドウを試食販売します。品種

- ごとの味の違いなど、質問にもお答えします。
- ☆「たまごの日」毎週月、水、金曜日 店頭価格から10%引き。一部の生産者出荷品は除きます。
- ☆「肉の日」毎週木曜日と29日（金） 店頭価格から5%引き。
- ※毎週水曜日の「米の日」は、米の安定的な入荷が見込めるまで休止しています。当面の間、水曜日は「たまごの日」とします。
- 【Sun's Gelatoのイベント】
- ☆「ジェラートの日」毎週火曜日 店頭価格から10%引き。
- ☆「ポイント2倍デー」3日（日）13日（水）23日（土）サン（3）ズジェラートの日は、ジェラート1個ご購入でスタンプカードに二つ押印します。
- ☆「お得なパンセット」8日（金）18日（月）28日（木）8の付く日はパンセットの日。クロワッサンなどのパン商品を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。
- ☆「ワンスプーンサービス」雨の日は、ジェラート購入で好きな味をスプーン1杯分お付けします。
- ◎8月は休まず営業します。
- ※準備の都合上、イベントが変更になることがありますので、ご了承ください。

JAグリーン8月31日は正午まで
8月31日（日）は棚卸のため、JAグリーンはだのの営業時間を午前7時30分～正午に変更します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

8月1日（金）のJAはだの創立記念日に、記念イベントを実施します。創立62年を祝って、今年は本所や各支所・支店だけでなく、最新の農業機械

や、肥料・農薬・園芸資材も多数展示します。両日、中古農機販売会を入札方式で開きます。入札は1日（金）午前9時から始まり、2日（土）正午に締め切ります。農業機械センターの担当者がお持ちしています。お気軽にご来場ください。

8月1、2日に農機展示予約会
◎日時 8月1日（金）2日（土）両日午前9時～午後3時
◎会場 JA全農かながわ（平塚市田村）
農業機械・資材メーカーが出展し、農業機械の1が展示し、農業機械の展示や相談コーナーを設け、最新の農業機械に十分に拡大します。現在、

西給油所セルフ化
9月1日オープン
西給油所は、セルフ式給油所への改装工事のため、現在休業しています。9月1日（月）に新装オープンする予定。セルフ化後は、営業時間が午前7時30分～午後8時30分に拡大します。現在、

◎対象物 ①使用済み農業用ビニール・農業用ポリマルチ②使用済み農薬ポリ容器・肥料の空き袋③使用済み野菜苗ポット・プラ鉢・トレー・ローリータンク・コンテナ
お申し込みは各支所・支店へ。お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

POP作りに参加しませんか
JAセレモニーホールはだのは、ちようちんなどの各種盆用品を取り扱っています。盆の準備はもちろん、葬儀、法要などに関することもお気軽にご相談ください。

盆用品はお気軽にセレモニーホール
JAセレモニーホールはだのは、ちようちんなどの各種盆用品を取り扱っています。盆の準備はもちろん、葬儀、法要などに関することもお気軽にご相談ください。

防護柵の購入費用を補助
はだの都市農業支援センターは、農地に設置する防護柵の購入費用を一部補助しています。

◎対象者 市内に住所を有する方、市内で10ア以上を耕作する方、農産物の販売金額が年間50万円以上の方
◎対象経費 ワイヤメッシュ柵、金網柵、防鳥ネットを新規に設置する際に必要な費用※電気柵、ネット柵、トタン、忌避用品などは補助対象外
◎補助金額 上限5万円（費用の2分の1以内）※一部の防鳥ネットは上限3万円（費用の2分の1以内で、費用が1万円未満は対象外）
◎受付期間 12月26日（金）まで
◎その他 購入前に申請をお願いします。購入後の申請は補助の対象外です。ご注意ください。

お問い合わせは、はだの都市農業支援センター ☎81-7800

や、肥料・農薬・園芸資材も多数展示します。両日、中古農機販売会を入札方式で開きます。入札は1日（金）午前9時から始まり、2日（土）正午に締め切ります。農業機械センターの担当者がお持ちしています。お気軽にご来場ください。

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

青年部が栽培
青年部が管理する震生湖近くのヒマワリ畑が、間もなく見頃を迎える。「花いっぱい運動」の一環で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取り組む。7000本のヒマワリは、8月中旬に開花がピークになる

いばさんずがスタッフ募集
いばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

いばさんずがスタッフ募集
いばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

いばさんずがスタッフ募集
いばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

いばさんずがスタッフ募集
いばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

いばさんずがスタッフ募集
いばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

いばさんずがスタッフ募集
いばさんずは、パート・アルバイトスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

年金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

8月6日(水) 鶴巻支店
8月24日(日) 本所農業団地センター
時間 午前9時～午後4時

できるだけ
事前予約を
お願いします

ご予約・お問い合わせは 信用課 TEL.81-7716

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
梅雨空の鬱の重たき日なり
森高 由子(渋 沢)
声高な人に馴染めず合歡の花
高島美和子(名古屋)
大夕焼け白の織月ひかえ目に
吉田 清美(渋 沢)
夕焼けやダブルタッチ縄の音
菊池としえ(菩 提)
夕焼けや友に輝く未来像
志賀 明子(千 村)
真清水や四角にひやす冷奴
石原 松枝(渋 沢)
梅雨晴の草芳しき放牧地
高橋 順子(大森町)
唄声は夏の瀬越しのプロローグ
柳川みち子(栄 町)
賑やかに語れる人に大夕焼け
佐藤英美子(南矢名) 選者
大夕焼け吾のあしたに何やある
〈短歌〉(久保寺 富男 選)
亡き妻が母に聞かせし「ふるさと」の曲
今宵リコーダの音に流れ来ぬ
八木 実(鶴巻北)
評 近所の家のどこから流れ来る「ふるさと」の曲、在りし日の妻と母を思い出して心に湧く悲しみに耐えて居るのである。
今日の日を最後と思ひ生きゆかむ
臉にやどる人らしのびて 細田富士(千 村)
もし君と来てたらキスをしただろう
川面に揺れる打ち上げ花火
大木かずひろ(名古屋)
突然の雨に干しある葉たばこを
総出で仕舞ひし夏の思ひ出
安居院輝雄(上大槻)
暗みたる空に黄金のリングの月
天体ショウにしばし憩ひぬ
石田こずゑ(水神町)
農地減り農業者減り村が減る
やがて失せゆく文化もあるらむ 選者
※選者による添削あり

今月の理事会

7月25日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

- ▽公印、法人印鑑カド、鍵及び金庫等管理規程の改正について
- ▽「自己資本比率算出要領」の改定について
- ▽2025年度春の座談会意見・要望の対応について
- ▽2026年度(令和8年度)農林業施策・予算要望について
- ▽貸出条件変更の申し込みについて

職員人事

かっこ内は旧部署

- ◎6月30日付退職
秋山聡(融資課)
◎7月1日付
西支所⇨片岡麻衣(休業復帰)
本町支所⇨小山田順子(西支所)
南支所⇨清水勇斗(新採用)

税務相談日 8月8日(金)
午前9時30分～
法務相談日 8月19日(火)
午後1時30分～
場所 本町支所
予約制ですので、事前に電話でご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。ご予約は協同コンサルトはだの ☎81-2329

結婚相談日
8月10日(日)
時間 午前9時～正午
事前に電話でご予約をお願いします。先着4人ですのでお受けできない場合があります。
ご予約・お問い合わせは組織教育課 ☎81-7714

農作業の安全対策意識の向上や事故防止を目的に「農作業安全標語」を募集します。

◎募集作品の内容
①農作業の事故防止に役立つもの②農業労災保険加入の促進に役立つもの③農薬の安全使用および保管管理に役立つもの

◎応募資格 組合員またはその家族

◎応募期間 7月26日(土)～8月27日(水)

◎応募方法
①今月の機関紙折り込みチラシに記載している、はだの都市農業支援センターのメールアドレスに、標語・氏名・住所などを入力して送信。

事故防止に役立つ作品を
農作業安全標語を募集

※同一アドレスにつき3点まで

②応募用紙に、標語・氏名・住所などを記入して、各支所・支店の窓口または、はだの都市農業支援センターに提出。※1人3点まで

◎褒賞 特選3点、入選9点。入賞者には記念品を贈呈し、応募者全員に参加賞を進呈します。

◎結果発表 10月の機関紙「JAはだの」で発表します。入賞作品は電子掲示板やカレンダーなどに掲載します。
お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。☎81-7800

かながわ旬菜だ

8月3日(日)午前9時放送の「かながわ旬菜ナビ」は「夏だ!」と題して、JAはだの管内からお届けします。旬菜キヤッチャーの坂井美萌々さん(月)午前10時から、CHAの誕生秘話を調査、自家製漬物の試食(放送の順序は未定)。

夏を満喫しよう
舞台は 秦野

8月3日(日)午前9時から「HONO」トビールで、茶を使ったクラフトビールを、む片倉商店で、おめでとうございませう。末永くお元気で過ごしてください。

最優秀者に記念品贈呈
3000円分
中選賞
おめでとうございませう。末永くお元気で過ごしてください。

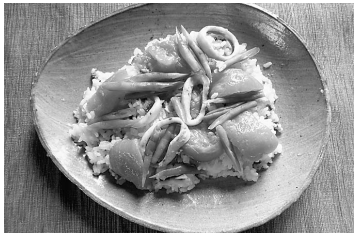
秦野の農家飯

フライパンで作るトマトパエリア

南支部 古宮 幸子さん

■材料4人分■
米2合(約280g)、トマト2個、イカ1杯、ニンニク1かけ、タマネギ80g、インゲン50g、A(鶏がらスープのもと小さじ1、水400cc、塩小さじ2分の1、こしょう少々) オリーブオイル大さじ1、水100cc

〈作り方〉
①米を洗ってざるに上げる。ニンニク、タマネギはみじん切りにする。
②トマトは皮を湯むきしてざく切りにする。
③イカは内臓を取り、胴は1本の輪切りに、足は3本に切る。
④インゲンは熱湯に塩少々(分量外)を入れて4分ゆで、冷水につけてざるに取る。
⑤フライパンにオリーブオイルを入れてイカを手早く炒め、取り出しておく。
⑥同じフライパンでニンニク、タマネギを弱火で2分炒め、米とAを入れて混ぜ、ふたをして中火で5分煮る。
⑦米からピシピシと音がしたら弱火にして、軽く混ぜてからイカと水を入れ、またふたをして5分煮込む。
⑧ふたを取って上にトマトを並べ、弱火で18分炊く。
⑨インゲンを3本の斜め切りにする。
⑩米が炊き上がったたら器に盛り、トマトの間にインゲンをばらばらとのせる。
〈ひとことアドバイス〉
炊くときの火は弱火にしてください。トマトの水分を含んだ上の米はやわらかく、下の米は少し硬くなるので、食感も楽しめます。



- ▽南地区⇨東平直代(今泉台)
 - ▽西地区⇨山口好子(渋沢)
 - ▽上地区⇨守屋久夫(柳川)
 - ※自己申告ですので、該当の方は申請書に記入・押印の上、誕生月の前月末までに各支所・支店に申請書の提出をお願いします。
- 77歳(喜寿)
- 88歳(米寿)
- 100歳以上
- ▽北地区⇨相原千枝(横野)
- ▽南地区⇨和田ハツ子(平沢)

ご相談
お待ちしております

休日ローン相談会

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

8月16日(土)

午前9時～午後4時 本町支所

完全予約制のため、事前予約をお願いいたします

融資課 ☎0120-954-093

またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。

ホームページ内「休日ローン相談会」から予約可能!

JAはだの Q 検索

ご来場の方に
記念品を
進呈



新企画で魅力アップ

はだの農業満喫CLUB

はだの都市農業支援センターは、観光農業振興の一環で取り組む「はだの農業満喫CLUB」で、新しい体験を毎年打ち出している。農作物の植え付けや収穫ができるイベントを、年間で30種類用意。人気の体験を恒例の開催として、常連客を獲得する一方で、市内の多品目生産を生かして新企画を考案し、市内の農業の魅力を発信する。

植え付けや収穫体験は30種類

ファン作りに効果

センターは地元農家の協力で、CLUBの会員向けに農産物の収穫体験を用意。市の特産物である落花生や、4年前から市内で栽培が始まった青パパイアなど、多彩な品目をラインアップする。今年もブルーベリーやソバの収穫など、四つの新企画を組み込んだ。

新鮮なトウモロコシが人気

はだの都市農業支援センターは6月28日、7月5日に、堀西の「ファームスクエア丹沢の森」でトウモロコシ収穫体験会を開いた。農業体験イベント「はだの農業満喫CLUB」の一環で、会員に人気の企画。参加者は同園を営む三武利夫さんと交流しながら、旬のトウモロコシの収穫を満喫した。

伊勢原市長からは、ブルーベリーの贈呈。高橋市長は、秦野市役所で、高橋市長に生食用ブルーベリーとジャムなどの加工品を贈った。伊藤隆弘会長ら3人が、日頃の支援へ感謝を伝えるとともに、研究会の活動を報告。摘み取り園周辺の駐車場の整備などについて、市のサポートを要望した。



高橋市長(左から2人目)にブルーベリーを贈呈。伊藤隆弘市長(右から2人目)は、ブルーベリーの加工品を贈った。

やえのちゃん ぴーなマンの「ゆうきの里づくり」ってなに？

先月は「ゆうきの里づくり」が輪になっていくって教えてくれたよね。サイクルの一つ目「有機物リサイクル」を詳しく知りたいな。

米・野菜・果物などの作物を栽培する農家と、畜産農家が連携して、家畜ふん堆肥や、里山の落ち葉を堆肥にして活用するのよ。有機物をたっぷり使った畑は、ふかふかで良い土になるの。作物が丈夫に育つから、化学肥料や化学農薬の使用量を減らした。

から、サイクルの二つ目「農産物の品質向上」を目指すのよ。取り組みがながっているって、こういことなんだね。収穫された農産物はどうなるの？

新鮮な農産物は、地元の消費者に食べてほしいわね。「秦野で取れた農産物は秦野で食べよう」という働きかけが、三つ目「地産地消の推進」なの。じばさんずは、地産地消の拠点なのよ。

有機物でふかふかの土に



ブルーベリーの収穫を満喫した



トウモロコシを収穫する参加者

接近! おじゃまします

間を通して約20品目を自家消費用に栽培する。「毎日新鮮な野菜を食べられるのがうれしい。畑にしていると作業に集中できるので、気持ち転換にもなる」と農業のやりがい話す。

養毛下の生産組合長として10年以上務め、東地区自治会連合会や秦野市自治会連合会の役員も歴任。「地域の先輩たちにお世話になってきたので、できることは協力しながら恩返しを仲間と共に運

地域活動に協力し恩返し



養毛の湯山 正計さん(68)

今後について「これから野菜を作り続けていきたい。自然村で子どもたちの楽しそうな姿を見ると元気をもらえらるので、多くの人の交流を大切にしたい」と笑顔を見せる。

養毛で生まれ育った湯山正計さんは、秦野市職員として、定年まで勤務。市史編纂(へんさん)室などの他、公民館に長年配属され、市民のために業務に励んできた。定年後は畑を管理しながら、地域のさまざまな活動に協力する。

約10坪でナスやキュウリ、トマトなど、年